

# I. 健康サポート薬局技能習得型研修カリキュラム一覧（8時間10分）

研修目的：患者・来局客者の訴え・状態に合わせた対応や地域の実情に合わせた多職種連携を適切に実施できる能力の養成

研修番号	研修項目	学ぶべき事項	達成目標	研修内容（研修形式：ワークショップ）	研修時間
技能Ⅰ	健康サポート薬局の基本理念	<ol style="list-style-type: none"> <li>健康サポート薬局の概念（理念、各種施策・制度、背景等）</li> <li>健康サポート薬局のあるべき姿に関する演習</li> </ol>	<ol style="list-style-type: none"> <li>健康サポート薬局の社会的な位置付けを説明できる。</li> <li>健康サポート薬局の社会的ニーズを的確に把握でき、健康サポート薬局及び薬剤師のあるべき姿に向けて努力することができる。</li> </ol>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●基本理念（WS） <ul style="list-style-type: none"> <li>健康サポート薬局の概念（講義）</li> <li>健康サポート薬局のあるべき姿について（SGD）</li> <li>健康サポート薬局に対する思いなど（レポート作成）</li> </ul> </li> </ul>	1時間
技能Ⅱ	薬局利用者の状態把握と対応	<ol style="list-style-type: none"> <li>薬局利用者の相談内容から適切に情報を収集し、状態、状況を把握するための演習</li> <li>薬局利用者の状態、状況に合わせた適切な対応を行うための演習</li> </ol>	<ol style="list-style-type: none"> <li>薬局利用者との対話により収集した情報や身体所見などに基づき、薬局利用者の状態、状況を把握することができる。</li> <li>薬局利用者の相談内容から薬局利用者のニーズをくみ取り、解決策を提案することができる。</li> <li>薬局利用者の状態、状況に合わせた適切な対応（かかりつけ医や医療機関への受診勧奨、要指導医薬品等の推奨、生活習慣の改善のための助言、適切な対応先の紹介等）を判断し、実践できる。</li> <li>相談対応後のフォローアップができる。</li> </ol>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●臨床推論（WS）：頭痛で来局した患者から情報収集などを行い、以下の手順で適切な対応を修得する。 <ul style="list-style-type: none"> <li>患者の状態把握（LQQTSA）</li> <li>患者の状態の判断（トリアージ）</li> <li>患者の状態に応じた対応（セルフメディケーション、受診勧奨、緊急対応など）</li> </ul> </li> </ul>	4時間
技能Ⅲ	地域包括ケアシステムにおける多職種連携と薬剤師の対応	<ol style="list-style-type: none"> <li>地域包括ケアシステムにおける当該地域の医療・保健・介護・福祉の資源と役割の現状</li> <li>地域包括ケアシステムの中で健康サポート薬局としての役割を発揮するための各職種・機関との連携に関する演習</li> </ol>	<ol style="list-style-type: none"> <li>地域包括ケアシステムにおける当該地域の医療・保健・介護・福祉の資源と役割の現状について、地域住民の目線でわかりやすく説明できる。</li> <li>薬局利用者から健康の保持・増進に関する相談等を受けた際、適切な職種・機関へ紹介することができる。</li> <li>地域包括ケアシステムの中で各職種・機関と連携した対応を行うことができる。</li> </ol> <p>（但し、研修受講者は、自らが勤務等する薬局が所在する地域の地域包括ケアシステムに係る研修を受講すること。）</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●地域包括ケアシステム（WS） <ul style="list-style-type: none"> <li>地域包括ケアシステムにおける当該地域の医療・保健・介護・福祉の資源と役割の現状（講義）</li> <li>地域包括ケアシステムの中で各職種・機関と連携するための各薬局での目標と課題抽出・具体的な行動計画の作成（SGDと報告書の提出）</li> </ul> </li> </ul>	3時間 10分



